

事務所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F 活動支援室内
TEL:075-647-3535 FAX: 075-647-3536
E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
京都市環境局地球環境政策課内
TEL:075-222-4037 FAX:075-222-4039

KES認証事業部 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
京都工業会館2F TEL/FAX: 075-323-6686
E-mail: kesma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp
<ホームページ> <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>

京都市地球温暖化対策条例施行 2005年4月1日

4/23 「鴨川さくらまつり」でえこまつり見学会を開催

(土)(日) お祭り/イベントのごみ減量をリユースシステムでサポートする「環境対策支援便RE-ECO(リエコ)」京都でお披露目!

お祭りは楽しいものです。イベントは大成功!食べ物はおいしかった!主催者も大満足!だけども量のごみが残った...これで本当に終わっていいのだろうか?こんな疑問から私たちの活動がはじまって4年の月日が経とうとしています。

「えこまつり」とは、環境に負担をかけないお祭りの形態として、私たちえこまつりワーキンググループ(WG)が作り上げた造語。そのため、「えこまつり」のイメージはなかなか具体的に伝わりにくいようです。しかし、そう難しいものではありません。「えこまつり」を知っていただくためには、まず実際に見ていただくことだと考えます。

そこで、当WGでは、第5回を迎える「鴨川さくらまつり」でえこまつりを実践するとともに、その見学会を行いたいと思います。単なるお客さんの立場では見ることができない洗浄の備品や、スタッフの動きなど、裏方の視線でえこまつりを見学していただきます。

今回、リユースシステムをイベント会場に届ける「環境対策支援便RE-ECO」もえこまつりWGから生まれたものとしてデビューします。

今後、お祭りやイベントで環境対策を取り入れたいとお考えの方々、また、まだ具体的には決まっていなくても、いつかやってみたいとお考えの方々、ぜひ、この機会にご参加いただければと思っています。

日時 4月2日(土) 3日(日) 午後1時~3時(雨天決行)
(両日とも同内容です。どちらかにご参加ください)

鴨川さくらまつりは4月1日(金)~3日(日)開催です。
場所 鴨川河川敷三条大橋~四条大橋間西岸
中央ステージ横 緑のテント

参加費 無料
主催 京のアジェンダ21フォーラムえこまつりWG
申込 4月1日までに下記連絡先へ氏名、連絡先、希望日時をご連絡ください。
連絡先 京のアジェンダ21フォーラム事務所(担当:竹村)
TEL:075-647-3535 FAX: 075-647-3536
E-mail:ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

4/8 第12回(京)次世代都市交通導入フォーラム

(金) 今回はフランスLRT特集です

今回のテーマは、フランスにおけるLRT(低床式路面電車)の最新事情です。どうぞお楽しみに。

なお、今回から、原則偶数月第2金曜日夕方の開催となっておりますので、ご注意ください。

主催:(株)モチベート 共催:京のアジェンダ21フォーラム
日時:4月8日(金)午後6時半~9時
場所:ば・る・るプラザ京都(JR京都駅烏丸口東側)
4階第3会議室

内容
・挨拶 在大阪フランス領事館商務参事官
ポール・ドゥ・オリヴィイラ氏
・ポルドーの地表集電LRTの技術、運行報告
三菱総合研究所主任研究員 志村雄一郎氏
・公共交通ネットワークの事業展開
フランス コネックス(CONNEX)社新国際市場開発次長
エドワード・ヴァラーニ氏
コーディネーター:(株)まち創生研究所代表取締役 酒井弘氏
参加費:3,000円(学生1,000円)
問合:(株)モチベート 森五宏 090-7118-9690
申込:メールかFAXでお願いします。
Email:i.mori@motivate.co.jp FAX:06-6312-1151

あなたが温暖化のほんとうを記録する目撃者。
あなたのBlogが新しい京の歳時記をつくります。
地球環境Doblog歳時記@京都・スタートアップ企画

サクラをたずねて鴨川を歩こう

2005年4月4日(月)午前10時~午後4時頃
鴨川・四条河川敷(四条大橋西詰北)集合~北大路方面へ
参加費:2,000円(スルッとKANSAIカード1,000円進呈)

地球温暖化、ほんとうはどうなの?季節は狂っているの?きちんと確かめてみたいと思いませんか?これから毎年、同じ月日、同じ場所で季節をウォッチする「地球環境Doblog歳時記」のはじまりです。まずは春。サクラです。みんなで歩いて、写真に撮って、Doblogに投稿します。あなたの記録が、みんなの歳時記になります。

詳細、申込はフォーラム事務局まで
詳しい情報は、フォーラムHPまたは同封のチラシをご覧ください

主催:京のアジェンダ21フォーラム、共催:(株)NTTデータ経営研究所、(株)NTTデータ

Agenda Forum 4月 ミーティングと主催行事の予定

2日(土)~3日(日) 午後1時~ えこまつり見学会
(於:鴨川河川敷三条大橋~四条大橋間 詳細上記)
4日(月) 午前10時~ サクラをたずねて鴨川を歩こう
(四条大橋西詰北側集合 詳細上記)
8日(金) 午後6時半~ 第12回(京)次世代都市交通導入フォーラム
(ば・る・るプラザ京都4F第3会議室 詳細上記)
8日(金) 午後7時~ エコミュージアムWG
大原野プロジェクト会議
(於:大原野自治会館)
18日(月) 午後7時~ 交通WG自転車タスク会議
(場所未定)

報告会を開催予定 交通 WG

交通 WG では、平成 16 年度に実施された、公共交通に関する取組の報告会を企画しております。

1. 嵐山地区の臨時交通規制とパーク・アンド・ライド

嵐山地区では、「嵐山交通対策研究会」を中心として、平成 13 年より交通社会実験が、平成 15 年より交通規制の実施やパーク・アンド・ライド (P&R) が行われています。平成 16 年は、11 月の土日祝日に長辻通・嵯峨街道の一方通行や、長辻通の歩道拡幅などが行われました。

2. 東山地区交通社会実験

東山地区では「東山交通対策研究会」が中心となって 11 月 13・14・20・21 日に、東大路通の渋滞の緩和、公共交通利用者の利便性の向上などを目的とした交通社会実験が行われました。

3. 駐輪ポイントカード"さいくるん"の取組

都心部の駐輪場の利用促進と、駐輪場自体の増加を目的として、

駐輪することにポイントがたまり、ポイント数に応じて抽選でプレゼントが進呈される"さいくるん"の実験が 11 月の 1 ヶ月間、行われました。

以上の 3 つの取組に関して、その内容と結果、今後の課題を報告していただきます。

この報告会の開催は 4 月中旬を予定しておりますが、詳しい日時と開催場所は交通 WG の HP (<http://homepage3.nifty.com/kyotocitybus/trans.htm>) で追ってご案内いたします。

(交通 WG アシスタント 井上学)



協働提案、一定の成果を見る 地球温暖化防止条例協働提案プロジェクト

去る 1 月 31 日、地球温暖化防止条例協働提案プロジェクト (以下、協働提案プロジェクト) のオープンフォーラム (第 2 回) が開催され、同プロジェクトは一つの区切りを迎えることになりました。オープンフォーラムでは、地球温暖化対策条例 (以下、条例) の内容について市担当者からの説明があり、その後、参加者との質疑応答、今後に向けた議論などが行われました。

協働提案プロジェクトは、策定作業を進めていた市や審議会と協働関係を築き、より実効的な条例の実現に貢献するために、広範な主体の参加のもとに提案 (協働提案) を作成するということを目的に、2003 年 6 月にフォーラム内に立ち上げられました。フォーラムのワーキンググループをベースにした、個別の取り組みについて議論をする部会と、全体的なとりまとめを行うプロジェクトチームが設置され、それぞれで、これまでのフォーラム等での活動を踏まえた活発な議論を展開し、提案の作成を行いました。そして、同年 10 月に協働提案が完成し、第 1 回オープンフォーラムでその内容を発表するに至りました。

協働提案プロジェクトの活動や協働提案の内容は、条例の内容や策定作業に影響を及ぼし、プロジェクトとして一定の成果をあげることができたものと思われまます。しかし一方で、提案を発表した後、プロジェクトの活動が停滞してしまい、参加者

の減少、当初の目的であった市などとの協働関係を十分築くことができなかった、といったような課題を残しました。

条例は、昨年末に市議会で可決され、4 月からいよいよ施行されます。今後重要になるのは、条例にもとづいた具体的な温暖化対策をいかに展開していくか、ということになります。協働提案プロジェクトは区切りを迎えましたが、フォーラムとしては、市と NGO、市民、事業者の間に立って、温暖化対策の推進においてどのような役割を果たしていくのか、というプロジェクトが残した宿題に取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。

(地球温暖化防止条例協働提案プロジェクト・気候ネットワーク 平岡俊一)

< KES 認証事業部より > 3 月の新規認証取得企業 2005 年 3 月 1 日現在

確認審査合格企業の詳細については、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm>) をご参照ください。

ステップ 1

KES1-0288 宇野酸素株式会社三国工場 (福井県坂井郡三国町)
KES1-0289 アゴック株式会社福井工場 (福井県あわら市)
KES1-0290 株式会社ルシアン (京都市中京区)
KES1-0291 株式会社トッパン・コスモ関西支店 (大阪市北区)
KES1-0292 株式会社コーヨー (神奈川県相模原市)
KES1-0293 明豊電設株式会社 (鹿児島県出水市)

ステップ 2

KES2-0116 株式会社中川パッケージ (京都市南区)
九州事業所 (福岡県飯塚市)
八代事業所 (熊本県八代市)
東海営業所 (愛知県尾西市)
滋賀加工所 (滋賀県愛知郡)
KES2-0117 福岡ワコール縫製株式会社 (福岡県浮羽郡田主丸町)
KES2-0118 大通運輸株式会社 (大阪府大東市)
KES2-0119 株式会社オーゼットケー (大阪市東成区)

編集後記 えこまつり WG の研究をもとに生まれたえこまつりカー、「環境対策支援便 RE-ECO」。りえこって新しい仲間ができたみたいで嬉しいです。(竹村光世) / 花粉症を減らすためにも、増えすぎたスギの人工林を、広葉樹中心のもとの自然の森に戻していきたいな。(小山直美) / 『藤ノ森通信』じゃないですけど、毎年花粉症に悩まされます。でもヒノキは大丈夫。ホント、スギだけなんです。(滋野浩毅)